

## 4 研究のまとめ

### (1) 研究の成果と課題

#### ア 研究の内容に関する成果

- ・学習状況調査の結果から見える課題について、実際に解答の分析を基に、具体的な課題を考察し、授業改善策を構想したことにより、児童の実態に応じた具体的な授業改善の手立てを考案、実践するという小学校社会科における授業改善P D C Aサイクルを確立することができました。
- ・授業改善の手立てを考案、実践、考察すること通して、小学校社会科の授業において教師が陥りやすい課題点が見えてきたことで、教師が意識（改革）することの視点から「授業改善に向けて教師が意識する3つのポイント」を整理することができました。
- ・授業実践を通して、「授業に取り入れたい改善策」が、児童が知識を身に付けながら社会的事象の意味を考え、理解する力を高める効果を検証できました。また、その効果は、複数校における実践を通して、同一学年の児童の実態に応じた具体的な課題に対しても有効であることが確認できました。

#### イ 公開授業研究会における成果

- ・授業実践の中でも、単元を貫く学習問題づくりに重点を置き、2年間で、6校にて授業を県内の先生方に公開したことで、約60名の先生方に参観していただき、先生方にも授業改善策を具体的に提案することができました。授業研究会においては、貴重な御意見、御感想を頂くことができました。
- ・公開授業の参観者アンケートでは、参観者の約98%の方から課題解決に効果がある、自身の授業改善に生かしたいという評価を頂くことができ、授業改善策の効果を実際の授業を基に感じていただくことができました。（詳細は、次頁参照）

#### ウ 研究の課題

- ・本研究では、児童の主體的な学びを授業改善の鍵と考え、単元を貫く学習問題づくりに重点を置いた研究を進めてきました。学習指導要領改訂に向け、児童の学びが、中央教育審議会、文部科学省が示す「主體的、対話的で深い学び」になるように、社会科における深い学びを追究し、そのための更なる授業改善策を探っていく必要があります。

### (2) 終わりに

平成27年度は、太良町立大浦小学校、唐津市立相知小学校、鳥栖市立若葉小学校において、平成28年度は、唐津市立七山小学校、佐賀市立春日小学校、大町町立小中一貫校大町ひじり学園において、授業改善策を取り入れた授業を提案する公開授業研究会を開催し、多くの先生方に参会していただきました。

貴重な御意見、御感想を頂き、本研究の成果と課題を明らかにすることができました。本研究の成果を、児童の学びに還元していただければ幸いです。多くの先生方の御参会に感謝申し上げます。

最後に、本研究に御協力いただきました公開授業研究会場校の皆様、佐賀県小学校教育研究会社会科部会へ深く感謝、お礼申し上げます。

※ 公開授業研究会参加者の意見、感想

○公開授業研究会の参会者アンケートより

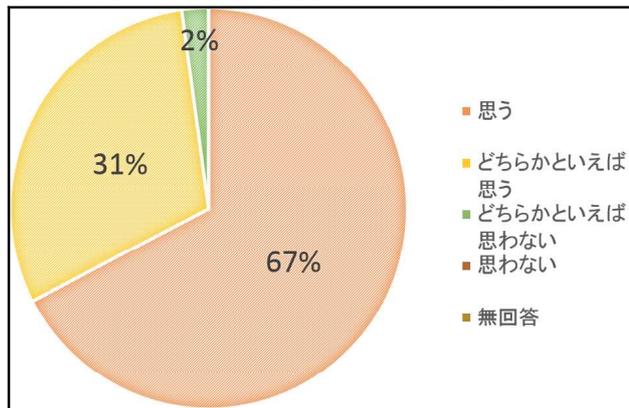


図1 「本日の提案は、課題の解決に効果的だと思えますか」の回答

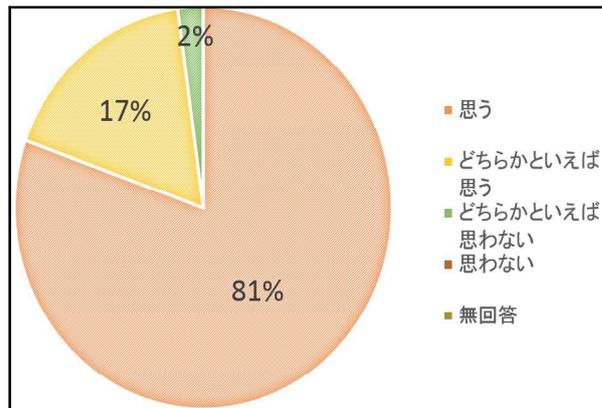


図2 「本日の提案は、御自身の授業改善に生かしてみようと思えますか」の回答

○参観者の声

- ・社会科の授業研究会に初めて参加しました。学習問題の作り方について勉強になりました。単元内容に合わせて、普段の授業に取り入れていきたいと思えます。
- ・子供たちの発言を問い直したり、つぶやきを拾ったりすることによって、多くの子供たちが自分事として考える社会科の授業にしていきたい。
- ・子供たちが、なぜだろうとかもっと知りたい、考えたいと思いながら学習に取り組んでいました。とても良いと思う。実際の授業を見て、自分の授業に生かしていきたい。
- ・子供たちの疑問や驚きなどの反応があり、社会科っておもしろいという児童の思いが伝わってきました。
- ・学習問題をつくらせる際に、子供の意見をどのようにまとめていくのか、発問をいつも悩んでいます。とても参考になりました。
- ・実際に授業をやってみないと分からないことが多々あります。自分も授業改善にチャレンジし、指導力向上につなげていきたいです。
- ・学習問題づくりで児童の考えをなかなか拾ってあげられず悩むことが多いです。今日の「学習問題から予想」の順序で一度チャレンジしてみようと思えました。また、問い返しを行うことで子供たちに切実感をもたせる方法も取り入れてみようと思えます。
- ・資料の読み取りを基に、自分の考えを書かせる手立てやってみようと思えます。
- ・単元計画をしっかり立てることが大切だということが分かりました。
- ・子供の意欲的な姿をみると、1時間の時間配分が難しいですね。時間を掛けるところ、掛けずに進むところをしっかりと考えて臨みたいです。
- ・教師の発問の難しさを改めて感じました。発問1つで児童の思考が大きく変わりますね。
- ・子供の意見を拾い上げて、予想を立てさせるという流れが今後の学習意欲につながるということがよく分かりました。
- ・様々な意見が出る研究協議会ができ、とても有意義だった。よい提案授業があったからだと思う。
- ・教師の意図をもって授業改善に取り組んでいこうと改めて思いました。
- ・発達段階に応じた楽しく、活動的な学習だったと思えます。
- ・研究協議会では、評価や子供たちの生活経験など、細かいところまで議論でき、充実していました。